

# 設計品質向上のための仕組みをつくる 再発防止と未然防止の進め方

【受講対象者】 製品設計・開発・品質管理部門の技術者、管理者

**日時** 2020年2月14日(金) 10:00~17:00  
(9:30受付開始、休憩12:30~13:30)

**主催** 日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円  
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分  
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分  
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。  
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

## 受講申込書

2/14 再発防止

お申し込みは FAX 03-5644-7215

●受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
			FAX	
所在地	〒		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考				

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190532

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

製品の不具合は通販サイトの口コミやSNSで瞬間に拡散していきます。公的機関による製品事故やリコールの情報公開も進みました。設計・開発部門の皆様は、設計品質に関してこれまでにないぐらいのプレッシャーを感じているのではないのでしょうか。設計品質を向上させるために、様々な設計手法を試している企業も多いでしょう。設計手法はうまく使えば非常に高い効果を発揮しますが、実際に使い始めると、なかなかうまくいかないことが多いものです。なぜなら、設計手法は設計プロセスの一部に過ぎず、それだけで設計品質を向上させることは難しいからです。設計品質を向上させるためには、そのベースとなる考え方を理解することが重要です。その考え方の基本となるのが再発防止と未然防止への取り組みです。

本セミナーでは、実際に設計品質向上のための仕組みづくりに奔走してきた講師が、再発防止と未然防止の考え方について分かりやすく解説します。

## 講師

田口技術士事務所 所長 **田口 宏之** 氏

**【略歴】** 長崎県立長崎北高等学校卒業  
九州大学大学院総合理工学府 修士課程修了

大学院修了後、東陶機器（現TOTO）に入社。12年間の在職中は水回り製品の設計業務に従事。新商品の企画・開発、受注生産品の設計、コストダウン、製品設計の仕組み改善、製品設計者育成計画作成・実行など多岐に渡る製品設計業務を経験。  
2013年に技術コンサルタントの国家資格・技術士を取得。2015年春、製品設計専門のコンサルタントとして独立。

保有資格 技術士（機械部門）  
所属 日本技術士会

## プログラム

### 1. 設計品質を向上させるための考え方

- 1-1 品質とはなにか？
- 1-2 設計に起因するトラブル事例
- 1-3 再発防止と未然防止の関係
- 1-4 なぜ未然防止が必要なのか
  - 1-4-1 「時間がなくてできない」からの脱却
  - 1-4-2 製品の不具合は隠せない時代
- 1-5 設計品質を向上させるための3つのポイント
  - 1-5-1 人材（設計者／チェッカー／レビュー／承認者／仕組み構築者）
  - 1-5-2 設計資産
  - 1-5-3 設計プロセス
- 1-6 各フェーズで用いられる設計手法
- 1-7 設計の仕組みはMECE（ミーシー）で構築する

### 2. 再発防止

- 2-1 再発防止の考え方
- 2-2 失敗（設計トラブル）のとらえ方
- 2-3 直接原因の究明と対策
- 2-4 根本原因の究明と対策
- 2-5 設計ルール作成のポイント
- 2-6 使えるチェックリストと使えないチェックリスト
- 2-7 設計者のエラーをいかに防ぐか

### 3. 未然防止

- 3-1 未然防止の考え方
- 3-2 設計資産×人材×設計レビューで問題を発見する
- 3-3 設計レビューの進め方
- 3-4 リスクアセスメント
  - 3-4-1 リスクの考え方
  - 3-4-2 優先順位と妥当性の判断
- 3-5 未然防止手法の代表格：FMEA／FTA
- 3-6 未然防止の仕組みを設計プロセスに組み込む

### 4. 活動の効果をさらに高める取り組み

- 4-1 リスクを低減させるためのポイント
  - 4-1-1 ストレス・ストレングスモデル
  - 4-1-2 製品の使われ方の明確化
  - 4-1-3 ものは壊れる（フェールセーフ）
  - 4-1-4 人は間違える（フルプルーフ）
- 4-2 設計者の品質に関する感度を上げる方法
- 4-3 設計効率向上のための取り組み
- 4-4 設計資産の蓄積に対する意識変革
- 4-5 近い将来の設計トラブル防止対策（設計資産が設計力を左右する）